

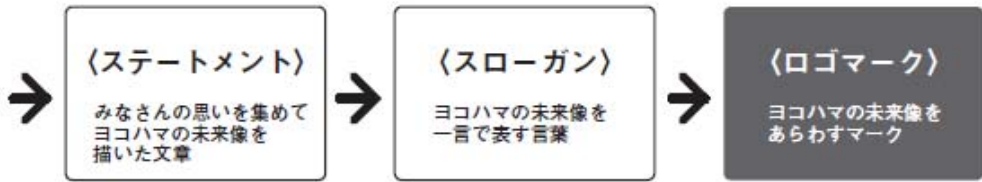
横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

多くの市民の未来のヨコハマへの想いが形になりました！ 未来の横浜を表すステートメント・スローガン・ロゴマークが決定

開港150周年を契機に、市民同士が横浜の未来を語り合い、市内外への横浜のイメージ発信につなげる、「市民参加型都市ブランド共創プロジェクト“イマジン・ヨコハマ”」に取り組んできました。集めた市民意見を基に、横浜の未来像を表す「ステートメント」、「スローガン」、「ロゴマーク」を作成し、「ロゴマーク」については市民投票を行った結果、B案が最多得票を得ました。市民の皆様が横浜への愛着をさらに高めるとともに、横浜の国内外への発信に活用してまいります。



たくさんの市民意見



■ ロゴマーク～ヨコハマの未来像のシンボル



風車の羽をモチーフにしたマーク。ステートメントに書かれている、ヨコハマに吹く自由で開放的な風をイメージしたものです。

3つの異なる四角形は、ヨコハマの多様性を表しています。

<市民投票に対する林 文子 市長のコメント>

7万7千もの多くの投票をいただき、ありがとうございました。「自由で開放的な風」を表現したマークで、横浜らしいと思います。

ぜひ、多くの市民の皆様にご利用いただきたいと思います。



◎投票総数 77,086票 (有効投票分)
<投票状況>

A案	B案	C案
22,692票【29%】	44,805票【58%】	9,589票【13%】

投票概要

・投票期間 平成22年4月8日(木)～5月20日(木)
・投票方法 ホームページ、携帯電話、ハガキ、ファックス等

■ スローガン～未来のヨコハマの合言葉

OPEN YOKOHAMA

ステートメントが描くヨコハマの未来像を多くの人にわかりやすく伝える言葉です。開港を経て発展したヨコハマにふさわしく、開放的で自由なヨコハマらしさを表現しています。市民が自ら新たな活動を生み出すきっかけとなる言葉であり、対外的にもヨコハマのおもてなしの心を伝えています。

■ ステートメント ～ヨコハマの未来像

裏面をご覧ください。

■ ステートメント～横浜の未来像

笑う。食べる。学ぶ。
働く。遊ぶ。深呼吸する。
生きていくうえで関わるすべてのことが、
手の届く範囲の中にある。
港と丘、文化と自然、歴史あるものと新しきもの。
時には葛藤しながらも、
様々なものをやさしく包み込み、
人が、人と、人らしく、すごせる街。
自然に、自分らしくいられる街。
そんな街で、あなたとわたしが、
出会い、認めあい、高めあう。

それは、ここに暮らす人たちが
自ら思い描いた、未来の横浜。
長い歩みの中で、異なるものを受け入れ、
新たなものを生み出しつづけた横浜の、
もう始まっている未来。

いまと未来をむすぶのは、
開港を経て横浜が育ててきた真の多様性と、
住みやすい環境を自分たちで創り出す市民のチカラ。
ここにしかない自由で開放的な風が吹き抜ける。
そんな横浜を、みんなで創りあげよう。

“イマジン・横浜”で集めた 市民の想いが詰まっています！

874人の市民ボランティアを中心に、市内各地でワークショップが開催され、「気づきのシート」約1,000枚、開国博 Y150 アンケートブースで集めた意見約3,000件、アンケート・マシーンへの約87万アクセスなど、深く、多様な市民意見が集まりました。「ステートメント」はこれらの市民意見を集約した「横浜の未来像」です。



【参考 1】ロゴマークB案へ寄せられた意見

※投票ハガキに書かれたコメントより。

- ・横浜の持つ自由な、そしてさわやかな風が吹くイメージにぴったりだと思います。
- ・横浜の「Y」が大空に飛んでいくイメージがしました。
- ・風車の力を感じます。濃淡三色が広がりを感じて良いと思いました。
- ・他のまちから引っ越してきました。横浜の第一印象は“風”でした。疲れた心を癒してくれるやさしい風、私の背中をえいっと押してくれる力強い風、そして横浜らしく凛とした品のある風が私は大好きです。横浜の風は、固く閉ざされた人の心でさえも自然と開かせてしまうような力があるように思います。

【参考 2】市としてのロゴマーク活用について

広報よこはま、市ホームページ、バナー、海外でのコンベンション誘致、職員名刺などに活用してまいります。